

千里文化センター  
設立 10 周年記念  
フォーラム

せしり  
千里のこれから  
コラボのこれから

フォーラム記録集

平成30年

2月10日(土) 14:00-16:00

**場所** 豊中市千里文化センター「コラボ」2階 多目的スペース

**定員** 先着150人(申込不要、当日会場で受付)

プログラム

- ① 開会あいさつ 豊中市長
- ② トークショー「千里とわたし」 浜村 淳さん
- ③ トークセッション「千里のこれから・コラボのこれから」

**コーディネーター** 上村 有里さん (赤ちゃんからのESD代表、豊中市社会教育委員)

**スピーカー** 浜村 淳さん (タレント)

太田 博一さん (千里ニュータウン研究・情報センター共同代表)

奥居 武さん (千里市民フォーラム運営委員、ニュータウン研究家)

足立 佐知子さん (初代千里文化センター長、豊中市政策企画部長)

# 千里文化センター設立 10 周年記念フォーラム

## 「千里のこれから・コラボのこれから」実施要項

### 1. 趣 旨

千里文化センター「コラボ」設立 10 周年を記念して、千里ニュータウンにご縁のある方々にお集まりいただき、千里の思い出話や昔話を語り合い、千里の良いところを浮き彫りにしながら、これからの千里文化センターのあり方や千里のまちづくりに向けて語り合い、誰もが住みやすい賑わいのあるまちにしていく機運を、市民・事業者・行政が力を合わせて醸成する機会とする。

### 2. 実施日

平成 30 年（2018 年）2 月 10 日（土） 14：00 ～ 16：00

### 3. 会 場

豊中市千里文化センター「コラボ」 多目的スペース

### 4. 主 催

- ・吹田市・豊中市千里ニュータウン連絡会議
- ・豊中市 市民協働部 千里地域連携センター

### 5. 内 容

- ・開会あいさつ 浅利 敬一郎 豊中市長
- ・浜村 淳さんのトークショー 「千里とわたし」
- ・トークセッション 「千里のこれから・コラボのこれから」

（コーディネーター） 赤ちゃんからの ESD 代表

豊中市社会教育委員 上村 有里 さん

（スピーカー）

タレント 浜村 淳 さん

ニュータウン研究家 奥居 武 さん

千里ニュータウン研究・情報センター共同代表

太田 博一 さん

初代千里文化センター長 足立 佐知子 さん

6. 定 員 150人

7. 申込み 当日会場で受付、先着順（保育は2月5日（月）まで、要申込）

※ 当日参加者数 215人

|                       |  |
|-----------------------|--|
| <p>司会</p>             | <p>長らくお待たせいたしました。</p> <p>多くの皆さまのフォーラムへのご参加、誠にありがとうございます。</p> <p>ただいまから「千里文化センター設立10周年記念フォーラム～千里のこれから・コラボのこれから～」を開催いたします。</p> <p>この催しは、千里文化センターコラボ設立10周年を記念いたしまして、千里ニュータウンにご縁のある方にお集まりいただき、これからの千里文化センターのあり方や千里のまちづくりに向けて語り合い、誰もが住みやすい賑わいのあるまちにしていく機運を高めようと企画いたしました。</p> <p>私は、本日の司会を担当させていただきます、吹田市と豊中市が共同で設置しております吹田市・豊中市千里ニュータウン連絡会議の岩崎と申します。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>フォーラムに入ります前に、お手元の資料の確認をさせていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A4サイズのフォーラムのチラシ、裏面には本日の登壇者のプロフィールがありますので、どうぞご参照ください。</li> <li>・A3サイズの資料「千里NT市民活動の流れ」、A4サイズの資料「千里ニュータウンの変化と千里文化センターコラボについて」。</li> <li>・A4サイズ「アンケート用紙」、後ほどご記入をお願いいたします。</li> </ul> <p>その他、本日は多数のチラシ類がありますが、時間の都合上ここでの確認は割愛させていただきますが、後ほどご覧ください。</p> <p>最後に今一度のお願いでございます。携帯電話をお持ちの方は、マナーモードにするか、又は電源をお切りくださいますようお願いいたします。</p> <p>また、会場内での写真撮影、録音等につきましては、固くお断りいたします。万一、発見した場合は、ご退場いただくことがございますので、あらかじめご了承ください。なお、記録冊子の作成のため、赤いベストを着た職員スタッフが会場内で記録を取りますのでご承知おきください。</p> <p>千里文化センター設立10周年記念フォーラムの開催に際して主催者代表といたしまして、浅利敬一郎豊中市長よりご挨拶を申し上げます。</p> |
| <p>浅利敬一郎<br/>豊中市長</p> | <p>皆さんこんにちは。</p> <p>千里文化センター設立10周年記念フォーラムへ、このように多くの皆様のご参加をいただきましてありがとうございます。</p> <p>この千里文化センター「コラボ」の建物は豊中市にありますが、もともと千里ニュータウンが開発された当時、吹田市が3分の2、豊中市が3分の1の面積の割合で、まちびらきがされました。</p> <p>それから50年以上の時間が経過し、豊中市民だけでなく吹田市民もこの千里文化センター「コラボ」を利用され、また吹田市民だけでなく豊中市民も南千里を利用されています。</p>   |

“千里のまちで市民活動をしっかり続けていこう”というのが、この建物「千里文化センター」のコンセプトでございます。

市民の皆さんのつながりを、この場所を活用しながら進めていこうと、建築当初から市民の皆さんと協力して計画してできた施設でございます。

開設から10年が経ち、さまざまな変化がありました。このまちがさらに元気になり、市民の皆さんのコミュニティがさらに深まっていく施設でありたいと願っています。

活用、利用のあり方についても、大いに

住民の皆さんとともに前に進めていきたいと思っていますのでよろしくお願いいたします。

今日のゲストは浜村淳さんです。

私よりだいぶ先輩ですがすごくお元気です。

千里にお住まいで、毎年、服部天神宮での「豊中えびす祭」にご参加されて、多くの皆さんに福を授けていただいています。

お話を楽しく聞かせていただきながら、またパネリストの皆さんそれぞれの思いを共有しながら、今日のこの時間を過ごせればと思っています。

どうぞよろしくお願いいたします。



司会

ありがとうございました。

それではフォーラムの第1部として、皆さまお楽しみになさっておられます、浜村淳さんのトークショーを始めさせていただきたいと思えます。テーマは「千里とわたし」でお話しいただきます。

それでは、浜村淳さんにご登壇いただきますので、みなさま大きな拍手でお迎えください。

《 浜村淳さん ご登壇 》

(大拍手)

浜村さん

お足元の悪い中、ようこそ「お参り」いただきました。(爆笑)

浅利市長、ご紹介いただきありがとうございます。

浅利市長は豊中市長を3期お勤めになりました。私よりはちょっとお若いくらい。私は今年の1月10日をもちまして83歳になりました。(大拍手)

同じ年で活躍している芸能人は、フランス人俳優アラン・ドロン。(笑)  
何がおかしいんですか。えらい違いですか？実は、同じ年なんです。  
私は1月生まれ、彼は11月生まれ。私の方が少し年上になります。  
もうひとりの同じ年は、イタリア人女優ソフィア・ローレン。  
今、芸能界で現役で仕事をしているのは私も含めてこの3人だけ。  
他の方は、亡くなってしまった。おかげさまで、私もこの歳までお仕事を  
させていただいています。

それは、豊中、千里ニュータウンというええところに住んでいるから元  
気が続くんです。(笑) これは、ほんまのことです。  
知っているアメリカ人が千里に来まして、「アメリカでさえ、こんな素晴ら  
しいまちはない」とびっくりしていました。  
どこがいいのかと聞くと、自然のよいところをうまく残して人工的に近代  
的なまちを作っている。こんな素晴らしいまちはアメリカにはないと。  
お世辞ではなく心の芯から感心していました。

私は、毎朝ラジオの生放送をしています。  
MBSラジオの「ありがとう浜村淳です」。もう、44年目に入りました。  
そのうちの40年は、私は住んでいる千里から通っております。  
これは千里という土地柄の良さ、浅利市長の行政手腕の見事さのおかげだ  
と思います。(大拍手)  
テレビで「健康手帳」という医学番組もしていました。23年続いたおかげ  
で、駆け出しのお医者さん以上に医学に詳しくなりました。

たとえば、日本でいちばん住みやすい県の調査で1番は長野県となりま  
した。2番は滋賀県。住みやすいから、長生きできるそうです。  
大阪府は、なんと38番目。(笑)  
大阪全体が、この千里のようなところになってくれたら、ランキングの上  
位に行けると思うのですが、日本は海外から見ると長生きの国ですね。  
男性の平均寿命はだいたい84歳。女性に至っては87歳と、たいへんな長  
寿の国になりましたね。いつ調査をしても、男女には差は出ます。  
女性の方が長生き。(笑) おかしいですか？(爆笑)

「健康手帳」から例を出します。  
とある1組のご夫婦がいらっしゃいます。  
奥様が先にお亡くなりになりました。後に残ったご主人は平均して何年生  
きるでしょうか？実は5年でございます。  
ここに1組のご夫婦がいらっしゃいます。  
ご主人が先にお亡くなりになりました。後に残った奥様は何年生きる  
か……。 (笑) 平均して15年でございます。(爆笑)  
笑っている場合ではありません。(笑)

「健康手帳」を23年間放送を担当していると、健康のために何が良くて何が悪いかが分かってきます。慎むべきは「禁酒」「禁煙」「禁塩」。お酒は百薬の長ですが、飲みすぎではいけません。タバコも吸いすぎはダメ。塩分もなるべく控えめに。あとは野菜や果物を多めに食べる。それから軽い運動です。ちょっとした時間を使って運動をしましょう。それと環境のいい場所に住むことです。その意味では、千里ニュータウンは快適で住み心地のいい、健康に住める場所だと思います。古くは香里、泉北、最近ではこの近くにある彩都、ニュータウンは日本各地にたくさんありますが、先ほどのアメリカ人の話にあったように、自然をうまく生かしつつ近代的なオシャレなまちに千里はなっています。

年齢を重ねると、「花が咲き小鳥が鳴く」自然がある場所に住むべきという意見も一時期盛んに言われましたが、お医者さんは年齢を重ねたらまちの真ん中に住みなさいと言われます。排気ガスや音もやかましいけども、映画館などがある場所に住みなさいと。人里離れた場所に住んでも案外健康にはつながりません。それよりも、人間の暮らしを近くでびびびし感じられるほうがいいですよ。それを聞いて、そんなものかと感心しました。今、話題になっている映画を観たいと思っても映画館までが遠いと出かけることが億劫になります。

ついでに映画の歴史を簡単にお話いたします。

(略)

この千里ニュータウンにも、お年寄りが集まるシルバークラブといったものがいくつもあると聞きました。

千里の美しい景色を眺め、清らかな空気を吸って命を延ばしていただきたいと思います。

ますます千里ニュータウンは発展していくだろうと思います。

この後、大変千里ニュータウンについての知識が深い方々のディスカッションがございます。

私の話はひとまず終わります。

(大拍手)





|             |   |
|-------------|---|
| <p>司会</p>   | <p>浜村淳さん、ありがとうございました。<br/>5分程度休憩後、トークセッションを始めさせていただきます。</p>   |
|             | <p>《 休憩 》</p>   |
| <p>司会</p>   | <p>それでは、準備が整いましたので、トークセッションをはじめさせていただきます。<br/>ここから先のトークセッションにつきましては、コーディネーターを「赤ちゃんからのESD」代表であり豊中市の社会教育委員も務めていただいております上村有里さんをお願いしております。では、上村さんよろしく願いいたします。</p>   |
| <p>上村さん</p> | <p>これより後半のトークセッションを始めさせていただきます。<br/>前半の浜村淳さんのお話は本当に素敵でしたよね。<br/>ひとつの映画を観ているような気持ちで聞かせていただきました。<br/>後半は、がらりと変わり千里文化センター「コラボ」の10周年をお祝いしましょうをテーマに、コラボの10年と千里ニュータウンの10年を皆さんといっしょに振り返りながら、これからの千里ニュータウン、千里中央、そしてこのコラボのことを考えていく時間にしたいなあと思っています。<br/>全体の流れで言うと、前半最初は今までの10年、中盤に休憩も含めて会場内で少しお話していただくお時間を取っており、後半は千里やコラボのこれからについて考えていく時間としたいと思います。</p> |





今紹介いただきました、私、上村有里がトークセッションの司会を務めさせていただきます。見たことがあると思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、コラボに建て替わる前の古い千里公民館の頃から子育て

支援の活動、環境の活動などをしてきました。  
浜村さんのお話にもありましたが、千里ニュータウンは自然が豊かです。また、近代的なまちでもあるこの千里で、どんな子育て環境が必要か、子育て中のお母さんたちと一緒に活動しております。  
それから、コラボ交流カフェの立ち上げや、千里文化センター市民実行委員会の立ち上げにも関わってきましたので、コラボでよく見かける顔だなあと思っておられる方もあるかもしれません。  
今は、南千里で市民活動を支援する吹田市の市民公益活動センターの職員もしています。住まいは千里ニュータウンではないのですが、千里で長い時間を過ごしています。  
今日は私がお世話になっている 3 人の方をパネリストにお招きしています。このコラボでの関わりも含めて、まずは自己紹介をお願いいたします。

太田さん

新千里東町に住んでいる太田と申します。よろしく申し上げます。  
住宅地の計画やまちづくりの仕事をしています。  
先ほど浜村淳さんから、千里を見てアメリカ人もビックリ、というお話がありました。そのアメリカのニュージャージー州にはラドバーンというまちがあり、ここでは歩行者と車を分ける「歩車分離方式」で住宅地がつけられています。このラドバーンのまちをモデルにして、千里ニュータウンの多くの住宅地がつけられました。  
千里丘陵の山と谷をうまく利用して歩行者と車を分けるといった日本の技術者の知恵を見て、アメリカ人の方もびっくりされたのかなと思います。  
私は、いくつかの地域活動に参加しています。  
そのひとつが新千里東町の近隣センターにありますコミュニティカフェの「ひがしまち街角広場」です。住民の方たちが立ち上げられて、17~8年になります。誰もがふらりと立ち寄ることのできる場所が、ボランティア



の皆さんの自主運営で長い間続いていますので、全国各地だけでなく、海外からも見学に来られます。

私は、「ひがしまち街角広場」は千里から外へと開いた窓としての役割も持っていると思います。地域の人や情報が集まるだけでなく、地域の外からも人が訪れ、交流する場になっています。私の役割は、見学者の方たちに「ひがしまち街角広場」の活動や千里ニュータウンの特徴を紹介することです。



私が参加していますもうひとつの活動グループは「ディスカバー千里」で、千里の魅力を発信しようと2002年に「ひがしまち街角広場」を拠点として設立されました。正式名称は、「千里ニュータウン

研究・情報センター」です。(初期のグループ名は「千里グッズの会」)資料の中に活動紹介のチラシが入っていますのでご覧ください。また、今日はコラボの入口でも、私たちの活動を紹介しています。

当初は千里の魅力を伝えようと「千里絵葉書」の制作・販売から始めました。メンバーは大学の先生や学生、研究者、まちづくりの専門家、住民の方たちです。


グループが発足しました2000年代のはじめは、千里の団地の建て替えが本格化し始めた時期でした。しかし、千里ニュータウンのそれまでの40年間の暮らしの歴史が記録されないままにまちの姿が大きく変わろうとしていました。私たちは千里の暮らしの歴史を記録して地域の方たちや子どもたちに伝えていかなければと考え、暮らしの歴史の収集、編集、発信の活動を始めました。

千里ニュータウンは現在、新しい住民の方たち、特に若い子育て世代や子どもさんたちが増えています。

そのような時代だからこそ千里の暮らしの歴史や魅力、価値を伝えていくことが大事だと考えて活動しています。

上村さん

ありがとうございます。太田さんには、まちの変化も含めて、人の変化の話なども、後程お聞きしていきたいと思っています。

|      |   |
|------|---|
| 足立さん | <p>皆さんこんにちは、豊中市政策企画部の足立と申します。</p> <p>私は、10年前に千里文化センター「コラボ」がオープンした時、初代センター長としてまいりました。</p> <p>2008年2月12日に開設記念式典があってから、もう10年が経つのかとあの頃の気持ちを思い出します。</p> <p>私は社会人となり最初に勤めたのが、以前の建物にあった千里公民館でした。そこで10年近く、生涯学習講座の企画や施設の貸し出しなど、日々地域の方たちとお顔を合わせて仕事をさせていただいていました。そして10年前にコラボがオープンするということで再び配属されました。</p> <p>千里文化センター「コラボ」の開設は、豊中市にとってビッグプロジェクトでした。バラバラにあった5つの施設を複合した施設ではありますが、ただ単に一体化するだけではなく横につなげましょうという、新しいコンセプトを持った施設です。</p> <p>それまで内部管理事務をしていた私が、初代センター長になっていいのかと最初は不安でしたが、市民活動団体のみなさま方、利用者みなさま方に、いろいろ助けていただきながら、みんなで考えながらコラボの運営を日々すすめておりました。</p> <p>そのとき肝に命じたことは「センター長はリーダーではなくコーディネーターだ」ということ、それに徹しようと考えておりました。</p> <p>あの時に助けていただいた方々に御礼を伝えたいと、今日はまいりました。よろしくお願いいたします。</p>  |
| 上村さん | <p>ありがとうございます。初代センター長としてご苦労もたくさんおありだったと思いますので、その辺りも後ほどお伺いしたいと思います。</p> <p>浜村さんのことはみなさんよくご存じかと思いますので、後で一言をいただくこととして、奥居さんから自己紹介をお願いいたします。</p>   |
| 奥居さん | <p>奥居と申します。</p> <p>今日は浜村淳さんとマイクを共有しているのですごく緊張しています。ニュータウン研究者とありますが、普段はただのサラリーマンでございます。</p>  |

す。昭和 39 年、もう 54 年前になります、私が 5 歳の頃に千里ニュータウンの吹田市藤白台に越してきました。

当時は何にもない場所で、千里中央はまだ影も形もありませんでした。電車は南千里が終点で、そこからバスに乗って開発中の荒地の中を進んで、ようやくたどり着く新しい家。親はなんでこんな場所に越してきたんだろうと 5 歳ながらに悲しくなったのを覚えています。

電車は南千里から北千里まで延び、大阪万博を契機に千里中央ができたことなど、まちがだんだんと広がってゆく様子をすべて見てきました。もともとあった里山を開発して、何もなかった赤茶けた大地になっていたところに、突然に千里中央駅ができた。こんな何もないところを、いきなり千里中央と呼ぶのかとびっくりしました。

その後だんだんと千里中央が栄えて、そして途中でちょっとくたびれて、といった流れを全部見てきて、そういうものを自分と重ね合わせて 54 年が経ちました。

サラリーマン生活で一度東京に行き千里を離れた時期もありましたが、千里がオールドタウンと呼ばれたり、親が年を取ってきたりとか、まちの変化は一度離れるとよく分かるんですね。



あんなにかっこよかったニュータウンを、なんとかしなきゃいけないと思い、勝手に自分で背追い込んで、12 年前、吹田市立博物館で開催された「千里ニュータウン展」の展示に関わったり、吹田・豊中にまたがった市民の

ネットワークである「千里市民フォーラム」にも入りました。

浜村さんからもありましたが、ニュータウンは、千里のみならず日本の全国にニュータウンがありますし、世界中にニュータウンはあります。で、よそのニュータウンはどうなっているのか見に行くと、千里にそっくりな街があちこちにあって、私達とそっくりな人たちが住んでいらっしやるんですね。びっくりして、そこからニュータウン巡りを始めました。途中で止まらなくなってしまって日本で約 160 箇所、海外で約 20 箇所を見に行きました。こういう場に参加するときにニュータウンオタクというと、それはちょっとと言われるので、やむを得ずニュータウン研究家という肩書きにしています。

|  |   |
|--|---|
|  | <p>千里ニュータウンは、本当に面白いところです。<br/>6年前には50周年記念がありましたし、そこから始まった「千里キャンドルロード」という素晴らしい活動にも参加しています。資料の中の、ニュータウンの地図づくりの編集にも協力しておりました。千里ニュータウンの素敵なところを伝えていけたらと思います。よろしくお願いします。</p>  |
| 上村さん   | <p>ありがとうございます。世界中のニュータウンを巡っておられるので、千里ニュータウンの魅力も後でたっぷりとお聞きしたいと思います。<br/>浜村淳さんは、千里にお住まいということで、千里との関わりを少しお話しただけですか。そして、どんなふうにながら変わってきたか教えていただけますか。</p>   |
| 浜村さん   | <p>太田さん、千里ニュータウンが建設されて何年になるんですか？</p>  |
| 太田さん   | <p>建設され、人が住み始めて55年になります。</p>  |
| 浜村さん   | <p>もうそんなになりますか。まちびらきの20年目に千里中央の広場で20周年記念の催しが豊中市の主催でありました。<br/>その時の参加者には、最初から住んでいる方が多くいましたが、今日ご参加の皆さまで当時から住んでいる方は、ここにいらっしゃいますか？いらっしゃったらお手を挙げください。恐らく100歳以上の方ですね。(爆笑)<br/>あまりお手が挙がりませんね、20周年記念の時は大勢いらっしゃいました。</p> |
|  |   |

|      |   |
|------|---|
|      | <p>「わしらの思い出としてはな。ここ、草ぼうぼうやったんや。ほんで雨が降るとぬかるんでぬかるんで、歩けなんだんやで」という話が出ました。実際、そんな時代があったんですね。</p>  |
| 太田さん | <p>ありました。<br/>南千里駅に履いてきた長靴を置き、革靴に履き替えて梅田などに通勤されていたようです。</p>   |
| 浜村さん | <p>聞きましたか皆さん。南千里駅でゴム長を貸し出したんですって、今はやっていないそうです。(笑) ゴム長もわらじも、置いていないですって。それだけ、まちが綺麗に発展した訳ですね。</p>  |
| 太田さん | <p>千里ニュータウンの最初の駅は阪急の南千里駅です。<br/>当時は新千里山駅という名前で、ここが唯一の千里ニュータウンの鉄道駅でした。</p>   |
| 浜村さん | <p>日本で初めて自動改札ができたのは北千里駅です。<br/>当時、知らない人は手に切符を持ったまま長いこと立ち尽くしていたそうです。小さな扉が、いつか開くだろうと。そういう時代だったんですね。大阪万博で、電車が延びたんですね。</p>  |
| 太田さん | <p>そうです。大阪万博用に北大阪急行線が現在の中国自動車道沿いを東に曲がって万博会場に延びていました。中国自動車沿いには千里中央の仮駅がありました。</p>   |
| 浜村さん | <p>当時、横山やすし、西川きよしと3人で公開録音の番組をやっていました。このあたりに来たときに横山やすしが「万博が終わったら線路を取っ払って高速道路に変わるんやで」と言ったら、周囲はまたホラ話やと笑いましたが、ほんまやったんですね。やすしの言うこと、珍しくほんまやったんですね。(笑)<br/>あの万博まで行く路線は、置いといてほしかったですね。<br/>今度、箕面まで延伸するそうですが、それやったら万博まで一本で行けるように線路を残しておいてほしかったですね。奥居さんどう思われます。</p> |
| 奥居さん | <p>万博の太陽の塔は、今年の3月から中が見られるようになるということで、万博は本当に素晴らしい千里の遺産ですね。</p>   |



|             |   |
|-------------|---|
| <p>浜村さん</p> | <p>万博までの線路はやっぱり残しておいてほしかったですね。いろいろな出来事が積み重なって、千里ニュータウンが発展していったんですね。私は勝手に上村さんの質問を外しますけどもね、これだけ素晴らしいまちでありながら、一時期お年寄りばかりのまちになったんです。それは、私自身がNHKの番組で、千里を隅々まで取材して回ったんです。若い人たちがどんどん出ていくのを留めるにはどうしたらいいか。それは、若い人たちが魅力を感じるまちでないといけないと思います。</p> <p>例えば、セルシー広場のステージには実際「ももいろクローバーZ」や「AKB48」など若者に人気のアーティストが来ているんですよ。</p> <p>もっともっと呼びましょう、「嵐」などジャニーズも呼びましょうと言ったら、「浜村さん、それはいい考えです。しかし高くついてかなわん」と言われました。</p> <p>そのとおりですが、3ヶ月に1回でも来てもらうといいじゃないですか。それから商店街の大売出しで出すクイズを若者の興味を引く問題にしましょう。AKB48のメンバーは何人でしょうかというように。中には高齢者向けの問題も混ぜましょう。ダークダックスは何人でしょうか。(笑)</p> <p>高齢者のひとり暮らしが増えましてね、その頃お年を召してひとり暮らしの家には黄色い旗を窓から出しましょうという運動もありましたが、太田さん、今はやっていないですね。</p> |
| <p>太田さん</p> | <p>黄色い旗の運動はすぐ無くなりましたね。</p> <p>ひとり暮らしだと分かってしまうと、防犯上よろしくないという理由です。</p>  |
| <p>浜村さん</p> | <p>いいアイデアだと思ったんですが、悪用されてしまうといけないから中止になったんですね。</p> <p>こういうことの積み重ねのなかで、このまちは発展していった訳なんです。私はこのまちに若い人が、もっとやってきてほしいと願っています。</p>  |



|      |   |
|------|---|
| 上村さん | <p>ほんとにそうですね。</p> <p>きちっと文化のお話も盛り込んでいただいていたのですが、セルシー広場のステージが無くなってしまうかもしれない今の状況は非常に心配ですね。</p>  |
| 浜村さん | <p>千里に残っておられる高齢の方には、親切なまち、優しいまちを旗印に掲げていただきたいと思います。</p>  |
| 上村さん | <p>ありがとうございます。</p> <p>高齢者が増えてきて、人の層が変わってきているという、問題提起までしていただきましたところで、どのように千里ニュータウンが変化してきたかを、太田さんにお話しいただきます。</p>  |
| 太田さん | <p>「千里ニュータウンの活動の流れ」の資料をお配りしていますが、これは、2000年頃から現在までの間に千里ニュータウンの市民活動や地域活動がどのように変化してきたかをまとめたものです。</p> <p>2000年前後を境に活動の担い手が変わってきました。それ以前は専業主婦が多い時代でしたので、女性の方たちを中心に地域が運営されていました。しかし、第1世代の男性が定年退職されはじめた2000年頃以降は地域デビューをされる男性が増え、まちの運営の担い手が少し変わってきました。</p> <p>また、団地の建て替えが本格化し始めますので、身の回りの環境の変化への関心も高まってくる時期でした。加えて、第2世代の方たちの多くが、ニュータウン外に出ておられましたが、盆正月には千里に戻ってこられる。彼らにとっては、千里はふるさとになっていました。</p> <p>そうすると親である第1世代の方たちは、子どもが帰ってくる千里をふるさとにふさわしいものにしておきたいと考えるようになったのではないかと思います。このような状況の中で千里の環境への関心が高まったのが2000年頃以降です。</p> <p>新千里東町では、2001年に「ひがしまち街角広場」が開設されました。独居の高齢者をはじめとただれもが気兼ねなく集まることのできる場所が必要だという住民の思いから生まれました。</p> <p>一方、吹田市の佐竹台では、団地の建て替えについて団地の住民や周辺住民だけではなく地域全体で地域のこととして団地建て替えを考えましょうということで、佐竹台の住民だれもが参加できる「佐竹台ラウンドテーブル」が設けられました。</p> <p>このような二つの地域活動がエポックとなり、さらに千里ニュータウン40周年で豊中市域と吹田市域の活動団体や活動者が連携しようという機運が生まれ、40周年のイベントが開催されました。</p> |



それまで、子どものイベントなどを通じて豊中市民と吹田市民はつながってはいましたが、まちへの関心が高まったこの時期から連携が活発になり、市域を超えたNPOが生まれたり、市民活動が盛んになったり、新たなコミュニティカフェができました。両市の市民活動・地域活動の情報交流の場として「千里市民フォーラム」も生まれました。

このような流れのなかで、2008年に千里文化センター「コラボ」が誕生しました。「コラボ」は、地域のつながりを超えて、目的を持って市民が集まり交流する場所、テーマ型の縁をつくる場所として開設されました。



「コラボ」が生まれた頃以降、少しずつ市民活動のあり方が変わってきました。豊中市では、新千里東町や新千里北町で地域自治協議会による地域運営が導入され、自治会連絡協議会や校区福祉委員会、地域防犯支部などの小学校区の団体をひとつにまとめて、みんなで地域を考える制度が取り入れられました。

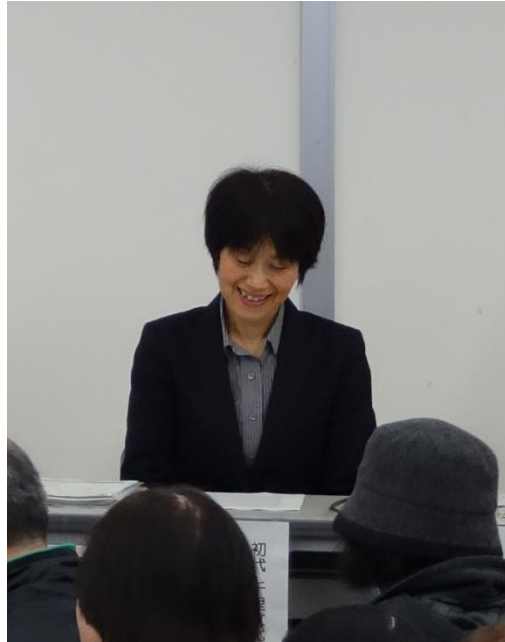
そうすることで、第一世代の住民の方たちはもちろん、小学校のPTAや新住民の皆さんも協議会に参加でき、地域の中に世代や立場を超えて地域の課題を話し合う場が生まれました。

最近の特徴的な取り組みとしては、新千里北町で北丘小学校の中庭の空きスペースを活用して住民の方たちが一緒に畑作業をする「畑のある交流サロン」があります。ここは、共同作業を通じて大人も子どもも交流できる場になっています。

このように、「コラボ」が誕生した2008頃以降は、地域の縁の中にテーマを持った集まりの場が生まれ、地域の暮らしのなかで新たなつながりの

|      |   |
|------|---|
|      | <p>場をつくろうという動きが出てきました。</p> <p>吹田市では 2011 年に佐竹台近隣センターにコミュニティカフェ「さたけん家」が生まれました。ここでは、高校生が小学生に勉強を教えるといった活動が行われています。</p> <p>地域の縁と目的を持ったテーマ型の縁が合わさった新たな交流の場づくりがだんだん千里に根付いてきているように感じています。</p> <p>そのような状況の中で、さてこれからの「コラボ」や千里の市民交流の方向性は？といったことが、今日のテーマなのだろうと思います。</p>  |
| 上村さん | <p>ありがとうございます。</p> <p>まちや人の変化に伴っていろんな問題が出てきて、それを市民の力でなんとかしようという動きが、いろんな地域で出てくるのが千里ニュータウンの凄さであったり、本日お集まりのみなさま方の凄さだと思います。</p> <p>では続いて、コラボの変化について足立さんにお話しいただきます。</p>  |
| 足立さん | <p>コラボができる前とその後、私がいた 2 年 2 か月間のことをお話します。</p> <p>コラボは図書館、公民館など複数の施設がただあるだけではなく、横に連携する複合施設であり、さらに行政と市民の皆さんがいっしょに運営する施設です。</p> <p>千里文化センターの老朽化による建て替えが決定された時に、市民の方たちが「ただ施設が複数入っている建物でいいのですか？」と豊中市の協働事業市民提案制度を使って問題提起され、教育委員会が事務局となり、「豊中市新千里図書館・公民館創造会議」（創造会議）を市民のみなさんと一緒に立ち上げて、図書館と公民館のあり方を議論したのが発端です。</p> <p>今日は当時の「創造会議」のメンバーの方もたくさんお越しいただいています。会議では、図書館・公民館をどうしようかという話だけではありませんでした。今みなさんがいらっしゃるこの多目的スペースも最初の行政案にはなく、4 階に展示スペースを配置する案でした。それに対し、それまで公共広場として人が集える場所がありましたが、建て替えに伴いそのスペースが少なくなったので、屋外と一体化して人々が集まれる場所が必要ではないかという提案で、正面入口がある 2 階部分に多目的スペースが設けられることになりました。</p> <p>また、屋上を芝生化することもそこで決まったと思います。みんながいつでも自由に入出りできるようにと屋上庭園が作られました。私はコラボの建設後に着任しましたが、聞きますと当初の案は「創造会議」での議論を経て、ほとんど見直されて、今のカタチになったそうです。</p> <p>それまでの行政のすすめ方とは違うやり方で決めていった経緯を伺い、この場所を大事にせなあかんと思いました。</p> |

このようにしてできたコラボですから、運営も行政だけではなく市民のみなさんといっしょにやるのが当然だと思い、「千里文化センター市民運営会議」を立ち上げました。市民運営会議は、コラボの事業をどうするか、主には多目的スペースをどう使うか、屋上庭園をどうするかを話し合い、



コラボカフェもここから生まれました。

市民運営会議には、特徴が3つありました。一つめはグループに分かれてみんなで意見を出し合うワークショップ形式を会議に取り入れたこと、二つめは会議終了後に傍聴者からも意見を出していただきました。三つめは当初、市民公募委員には無報酬でやっていただいていたことです。

当初、多目的スペースと屋上庭園をNPOに委託して運営

しようと考えていましたが、市民運営会議で市民が関わられるようにしないとだめだ、との声があり、「千里文化センター市民実行委員会」を作りました。市民実行委員が中心となって動くだけでなく、たまに手伝えるときだけ手伝う市民の方も受け入れる仕組みにしました。

当時の記録を見ますと、市民実行委員として6人程度の募集をかけたところ15人の応募がありましたので、全員にお願いしております。

地域の皆さんのパワーを感じてありがたいなと思いました。

開館時にみなぎっていた、やる気に満ちたパワーがいつまで続くのか、息切れしてしまうのではないかと懸念していましたが、今日はこれだけのたくさんの方々が参加してくださいました。また、市民実行委員会では今もいろんな事業をやっていきます。当時の勢いが10年間変わらずにいることは嬉しいかぎりです。

上村さん


ありがとうございます。

みなさんが座っていらっしゃるこの場も市民の力でできたということですが、当時ご尽力いただいた先輩方も今日は参加してくださっていますね。私が印象に残っているのは、この「コラボ」という名称公募に北は北海道から南は沖縄だったか、全国から寄せられたことで、それだけ注目されている千里中央なんだなと実感したのを記憶しています。

では、今から5分間、お隣の方と千里の思い出を語る時間にしたいと思います。

|       |  |
|-------|--|
|       | <p>います。皆さんの心の中にも、この千里が変わってきたこととか、自分の家の周りがこんな風変わったとか、いろんな思い出があると思います。千里のここは変わってほしくない、千里の大事にしたいといったことを、まずは握手からしていただき、簡単な自己紹介と合わせて共有してみてください。</p>   |
|       | <p>《 会場内 話し合い 》</p>  |
| 上村さん  | <p>はい、ありがとうございます。<br/>非常にお話が盛り上がっているようですが、どんなお話をされたかをご紹介していただけますか。前の方に、話を今朝聞いて、滋賀県から浜村さんを見にお見えの方がいらっしゃいました。でも、それだけ千里中央が便利で来やすいアクセスの良い場所であるということも特徴だと思います。</p>  |
| 参加者 1 | <p>昨年 4 月、上新田に越してきました者です。<br/>杖を持つ高齢の方が増えていますが、子ども連れの若い世代も多く見受けられ、その面では将来有望だと思いますが、セルシーがどうなっていくのか心配しています。</p>  |
| 上村さん  | <p>千里、特に上新田に子どもが増えてきたという話もありましたね。<br/>保育所不足の問題が大変と全国ニュースでも流れているようですが、小学校のクラス数も千里でも元に戻りつつあるようです。<br/>セルシーが心配というお声がありましたが、サブカルチャーやセルシーの展望について奥居さんからお話ししていただければと思います。</p>   |
| 奥居さん  | <p>すみませんが、セルシーはどうなるか、全く分かりません。<br/>今日も、支援につながればとお昼ご飯を食べてきました。でも、千里はこれまでもこれからも便利で素敵な場所であってほしいと願っています。<br/>しかし、ああいうヨーロッパにあるような広場があることがいいですよ。広場を中心としたヨーロッパのまちづくりを取り入れているんですよ。</p>                                 |
| 太田さん  | <p>セルシー（SELCY）は何の略かご存知でしょうか。<br/>実は、千里「SE」レジャーセンター「LC」の略なんです。<br/>ちなみに、せんちゅうパルの「PAL」は、People、Amenity、Life の略のようです。このように千里中央は、みんなが集まって楽しむ場所としてつくられたまちです。<br/>新人歌手の登竜門と呼ばれた、セルシー広場のコンサートを手放すのはもったいない話だと思います。</p> |

|      |   |
|------|---|
|      | <p>みんなが集まる広場がまちの中心にあるのは、ヨーロッパからまちのカタチを学んだ千里の個性の一つだと思います。</p>  |
| 上村さん | <p>情報が集まってくる拠点であることも、千里中央の大事な部分ですね。奥居さん、千里は他と比べて情報が集まりやすいカタチになっていますか？</p>   |
| 奥居さん | <p>日本でいちばん集まりやすいところが千里ニュータウンであり、その中央である千里中央であり、その中央にある「コラボ」かなと思います。(拍手)</p> <p>私は、日本中のニュータウン約160ヶ所を巡りましたが、千里ほど良いまちはありません。なにより、千里ニュータウンは便利ですね。便利だからこそ、私もあちこちに出かけられるんだと思いますし、千里から遠くに仕事に行かれる方は、便利だから千里に住んでいるという方もたくさんいらっしゃると思います。当然、情報も行き交うし、この立地条件はこれからも変わらないでしょうね。</p> |
| 上村さん | <p>立地条件がいいから、人が集まり情報が集まるということですね。</p>   |
| 奥居さん | <p>なおかつ、ニュータウンですから、全員が寄せ集めのまちなんです。50年経っていますが、なんでもやってみようという雰囲気は今もある。そういった雰囲気は、これからも大切にしたいし変わらないでほしい。</p>   |
| 参加者1 | <p>千里に住んでいて、季節行事や祭りがなく新しく来た人間は楽しめないうえに、映画館などの文化施設がないことが不満に思います。</p>   |
| 上村さん | <p>そのあたりは、太田さんが研究されておられると思います。地域新聞などにはありますが、先程、情報の拠点という話もありましたが、住んでいる人に届いていないという貴重なご意見でした。そこは課題ですね。太田さんから、実はやっているんだよといった点をお聞かせください。</p>   |
| 太田さん | <p>千里ニュータウンの全体的なお祭りでは、みんなが参加できる千里キャンドルロードがあります。</p> <p>また、まちの始まりのときから、各校区でお祭りも餅つきもやっています。自分たちの生活の中で楽しもうという動きや暮らしの中の交流の場づくりは以前から盛んです。一方、お寺や神社につきましては、そもそも千里ニュータウンは大阪府が建設したまちですから、政教分離ということで神社やお寺を建てることができませんでした。そのようなことを考えます</p>                                       |


|      |  |
|------|--|
|      | と、天神社などのある上新田の歴史が尊重されて残されたことは、千里ニュータウンにとって良かったと思います。   |
| 上村さん | ニュータウンに宗教施設を造らなかった歴史の中で、やっぱり祭りを求めて神社に人が集まってきたように、新たな祭りを作ろうとしたのが千里キャンドルロードなんですよ、奥居さん。   |
| 奥居さん | <p>千里キャンドルロードというイベントをみなさんご存知でしょうか。</p> <p>2012年の千里ニュータウンまちびらき50周年のイベントの一つとして、千里の人口と同じ90,000本のキャンドルを灯そうと始まったイベントです。</p>  <p>その年は、吹田市の千里南公園で開催しましたが、90,000本というすごい数のキャンドルですから、一度見るとその美しさが忘れられなくて、住民の力で何とか来年もこれをやっていこうということで、それから毎年11月に開催しています。</p> <p>千里ニュータウンは、吹田市と豊中市にまたがっていますから、両市の公園を使って交互に開催しています。</p> <p>その日、一日の約4時間だけの灯りのために1,300人のボランティアが集まって、90,000本のキャンドルの設置から点灯、消灯、片付けまで手伝っていただいています。そして次の日には、何にもなかったかのような公園に戻る、まるで魔法のようなイベントです。</p> <p>これもひとつの「千里スタイル」ではないかと思います。ニュータウンですから、このように形を変えたお祭りはあるんじゃないかと思います。</p> |
| 上村さん | はい。やはり、お祭りというのは大事じゃないか、皆さん求めていらっしゃるのかなあと思うんですが。一言、言いたいという方がいらっしゃいます。   |
| 参加者2 | セルシーは空き店舗が増えてとても寂しいと思います。建て替えになるのか、耐震補強して存続なのか未確定で不安ですが、今までのようにみんなが集まって楽しめる場所になってほしい。  |

|      |  |
|------|--|
| 上村さん | <p>そういう場所を作ることも大事ですね。</p> <p>千里の周辺では建て替えてマンションがたくさん建ってきたことにより、いろんな活動が生まれてきたそうですので、太田さんからご紹介いただけますか。</p>  |
| 太田さん | <p>一般的に新たに建てられたマンションの場合は、入居者全員が新しい住民ですが、千里ニュータウンの団地建て替えでは多くの場合、建て替え前の住民の方たちが住んでおられます。旧住民の方たちは団地での付き合いを経験しておられますので、新旧住民が交流する場をつくることに積極的です。マンションの中に趣味のクラブが多いのが千里の特徴です。</p> <p>このように、マンションの中では子どもやその親も高齢世代もともに交流できる場が設けられていますが、マンションの外の地域の人のたちとどのようにつながりをつくっていくかが課題だと思います。</p> <p>ですから、「ひがしまち街角広場」のようにまちの中の多世代が集える場所はこれから重要になってくるのではないかなと思います。マンションはひとまとまりの地縁コミュニティですが、そこを超えて地域交流ができる場が必要です。</p> <p>具体的な例としては東町シニアクラブ連絡会があります。新千里東町では老人クラブが減って2つくらいになっていましたが、マンション内での交流や見守りのためにシニアクラブを増やそうという連絡会が6年くらい前にでき、今では10箇所ほどになっています。そうするとシニアクラブ間で交流もできるし、メンバー間で安否確認もできるようになります。</p> <p>地域のつながり方を住民が工夫しながらつくっていく、こういったことが得意な人が多いのが千里ではないかと思います。</p> <p>先程話がありましたように、よそから来た人たちのまちですから、交流しながら生活を楽しくしていく工夫と知恵を持っておられると思います。</p> |
| 上村さん | <p>転入者が多いことも千里の特徴ですね。</p> <p>生まれ育った人たちが培ったコミュニティもありますが、途中からでも入れる場所を作っている人もたくさんいるまちだということも、千里の凄さなんだなと思います。</p> <p>既存の団体が高齢化して担い手がない、継続が難しいといった問題を新しい人たちがどうやってそこを継いでくれるのか、新たな担い手について先日、足立さんからご意見をいただきました。</p> <p>前にいらっしゃる方は、人と仲良くできる交流が得意な「おばちゃんみたいなおじさん」的な部分がありますが、逆に「おじさんおばさん」などの話が出ていました。現役世代に会社でキャリアを積み上げてきた女性が、</p>   |



|             |   |
|-------------|---|
|             | <p>地域を見たときになかなか地域に接点がないけど、何かをしたいと思う方もいるのではないかといった話がありました。足立さん如何でしたか。</p>  |
| <p>足立さん</p> | <p>私が、言ったんでしたっけ。(笑)</p> <p>ジェンダーの多様化と言われているなかで、おばさんはこんな、おじさんはこんな、と決めつけるのはよくないですが、分かり易さということでお許しください。</p> <p>先程の太田さんのご説明の中に、まず女性がまちづくりに関わって、だんだんリタイアした男性が関わってこられたとありました。</p> <p>私がコラボに着任した時、加えて企業に勤めていてリタイアされた女性が参加されるようになりました。リタイアした女性は、あまり適切でない言い方ですが「おじさんぽいおばさん」というんでしょうか。そういう方たちは、男性社会で生きてこられ効率性を優先し、成果を求められる。私自身もずっと勤めてきましたが、住んでいるまちのことより、仕事に関心を持ち、自治会やPTAなどは役が回ってきたときしかやらないという状況でした。そういう方は、定年退職した時が地域デビューの時でした。コラボにも来られるようになったのかなと思います。ただ、その方たちはそれまで時間がないと言ってきたので、行政がよく使う「居場所」という言葉の響きがあまり好きではないと思います。「居場所」とは何かと考えると、ただ時間を過ごすだけの場所でもいいのだけれども、その人が持っている力や時間を社会に還元できる場所も居場所だと思います。今はそういうイメージがあまりないので、別の言葉にしないといけないかなと思っています。あと、「居場所」は、気の合う仲間が気持ちよく過ごすこともそうだと思うのですが、意見が違う方、自分と違うタイプの方と交流する場も「居場所」だと思います。</p> <p>リタイアされた女性は、ご自身が活躍できる場、成果を生む場、ご自身の利益だけでなく公益を生む場を求めていらっしゃると思うので、そういった方が来られるような「コラボ」であればと思っています。</p> <p>奥居さんや太田さんは地域活動をされてきて、会社組織のなかでの価値観とは違うものを身につけてこられたと思います。地域活動はリーダーが決</p> |



|             |  |
|-------------|--|
|             | <p>めたことに従うというより、複数の違う意見を出し合って時間をかけて考えていく場です。</p> <p>「コラボ」がそれを提供できるのであればいいなと思っています。</p>   |
| <p>上村さん</p> | <p>ありがとうございます。コラボの実行委員会のところを担当いただいてご苦勞も垣間見えるところもあると思いますが、地域づくりにはいろんな方に関わってほしいですし、生き生きと活動できる居場所であってほしいと思います。</p>  <p>それを作るにはある程度の時間が必要だとお互いにわかったうえでいろんなことを決めていきたいですね。</p> <p>私も実行委員会に関わる中で、みんなで話し合っていていくことがなかなか難しかったり、特に男性率が高い実行委員会の中ではトップダウンで決まってしまうたり・・・といったこともありました。</p> <p>みんなで失敗をしながら、ひとつひとつ階段を上っていくということも大事だと思いました。</p> <p>ただ、地域活動をされている方からは、若い人たちは地域活動やPTAや自治会に入ってくれないという課題が聞こえて来ます。</p> <p>これからの千里ニュータウンやこれからのコラボを、みなさんと作っていく中で「こうあってほしい」、「千里中央はこんなこともやっていったらいいんじゃないの」といったこれからの展望を、それぞれのみなさんから語っていただいて、最後に浜村さんから締めていただこうと思います。</p> |
| <p>奥居さん</p> | <p>私はさきほど、さらっと言いましたが吹田市民なんです。豊中に税金を払っていないんですよ。</p> <p>ですが、このコラボにはお世話になってますし、多少お世話しているところもあるかもしれません。</p> <p>非常に千里というところは不思議なところで、吹田市と豊中市にまたがって一つの地域アイデンティティがあるところが面白いところです。</p> <p>今日のイベントスタッフも腕章をまいています。両市の方が混ざっています。5年前に、まちびらき50周年のイベントをセルシーの広場で開催したときも、両市が一緒になってやりました。</p>   |

|      |  |
|------|--|
|      | <p>それまでは 2 つの市にまたがっていることは不便だと思われていたが、実は逆じゃないかなと感じました。</p> <p>市長も 2 人が来られる。行政職員も 2 セット。ゆるキャラも 2 体来る。「マチカネくん」と吹田市は「すいたん」というんですが、これってものすごく贅沢なことなんじゃないかと思います。</p> <p>千里は、地域に開かれた場所であってほしいなと思います。</p> <p>日本中、世界中につながっているニュータウンの中央が、いろんな人たちを受け入れてくれる場所であり続けることが、この千里のこれからの活力になっていくポイントではないかと思います。</p>  |
| 足立さん | <p>「千里」という言葉から醸し出されるオーラのようなものがあると感じています。千里中央は、千里ニュータウンだけでなく北摂の中心でもあると思っています。</p> <p>そのオーラを大事にしなければいけないし、まちびらきから 55 年経ちましたが、まちとしてはすごく若いまちです。</p> <p>第 1 世代の方もたくさんいらっしゃるし、まちの歴史を、今生きている皆さんが作っていくまちであるということだと思います。まちに愛着を持つ方も多いです。</p> <p>リニューアルの時期を迎えて、若い世代も多く入っていますが、私たちが歴史を作っていくんだという意識を大切にしたいと思います。</p>  |
| 太田さん | <p>千里中央には、働く場や楽しむ場が必要だと思っています。</p> <p>全国のニュータウンで、ベッドタウンを脱して働く場を住まいの近くにつくろうという動きがあります。</p> <p>千里は、子育て世代が増えてきましたが子育てが落ち着いたときに、お母さんたちが働く場所は大阪の都心だけではない時代になっていきます。住まいの近くで働く環境を整えていかないといけないと思います。子どもたちを昼間に見守る人がまちの中にもいることも大事です。</p> <p>そういうまちにするために、住民が働く場を地区センターや近隣センターにつくっていく必要があります。</p> <p>もうひとつは楽しむ場ですが、千里中央には笑福亭松鶴さんが中心になって始められた寄席「千里繁昌亭」があったり、ホール、映画館、ボウリング場がありました。そういった文化的なものの価値を見直して楽しめる場所がまた増えていくといい。千里中央が千里ニュータウンの文化の中心になって、その中心にコラボがあり、いろんな人と出逢えればいいなと思います。</p> |

浜村さん

三波春夫さんという歌手と、数十年前にご一緒にステージを務めました。東京オリンピックをテーマにした「東京五輪音頭」や、大阪万博をテーマにした「世界の国からこんにちは」これをはじめとして、「大利根無常」や「船形さんよ」などのヒットソングを超満員の会場で歌って盛り上がりました。その時、いきなり三波春夫さんが、司会の私にむかっておっしゃった。「浜村さん、今全国的に“一声声かけ運動”というのが流行りつつありますが、何のことかご存知ですか」と言われ、何のことですかと聞きますと、「まちを歩いて、知っているお年寄りでも知らないお年寄りでも関係なく、一声だけ声をかけてあげてください。どこに行かれるんですか、車が多いから気をつけてくださいね。“年寄り転ぶな風邪ひくな”と申します、転ばないようにゆっくり歩いていってくださいね、と一声だけかけてください」とおっしゃった。

「人間歳を重ねると、なんぼお金があっても周りから冷たくされるほど辛いものはありません。お金がなくともおじいちゃん体大丈夫かと、一声かけてもらうだけで嬉しいもんです。一声かける運動を私は全国的に広めたいと思っています」と三波春夫さんが言ったら、会場から嵐のような拍手が湧きました。

その運動はどこから思いつかれたのですかと訊ねると、にっこり笑って三波春夫さんが「お年寄りを大事にする国は世界中から尊敬されますよ。お年寄りを粗末にする国は世界中から侮られます。」とおっしゃった。

(略)

私は全国に、この「一声声かけ運動」が拡がるように願っています。

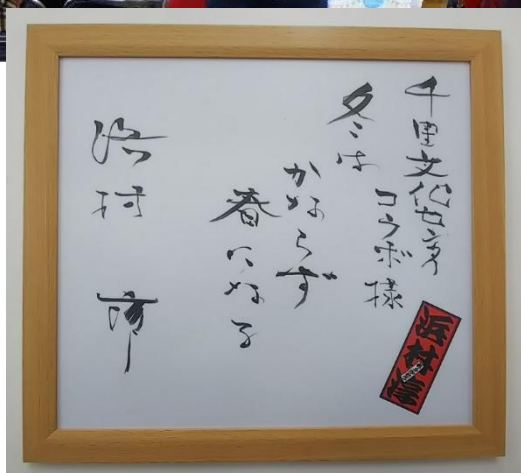
上村さんの話によりますと、団地がマンションに建て替わったりして、若い方々が若いご夫婦が何組

も何組も千里ニュータウンへ移り住むようになった。同時に子どもが生まれますね。子どもも増えてまいりました、良い傾向です。若い人を集めたいと同時に、そのまま千里ニュータウンにお住まいになっているお年を召した皆さま方に、優しく親切に思いやり一杯のまちにしていきたい。これが私の悲願でございます。

どうぞみなさん、この気持ちを解ったうえで分かちあってやっていただきたい、と思います。ありがとうございました。



|             |  |
|-------------|--|
| <p>上村さん</p> | <p>浜村淳さん、ありがとうございます。</p> <p>しっかりと締めていただきましたので、こちらからかける言葉はありませんが、それぞれスピーカーのみなさんからも素敵なメッセージ、そして浜村さんの白熱した話術にも触れていただきながら温かいメッセージをいただきました。そんな、あたたかい心の通う千里中央であってほしい、また、どんな世代もいろんなことにチャレンジできるまちであってほしいなと願っております。前にいらっしゃるみなさまに盛大な拍手をお願いいたします。(大拍手)</p> <p>スピーカーの皆さまありがとうございました。(大拍手)</p> |
| <p>司会</p>   | <p>浜村淳さん、上村さん、スピーカーの皆さま大変ありがとうございました。それではお時間になりましたので、終了とさせていただきます。</p>   |





千里文化センター 設立 10 周年記念 フォーラム

千里のこれから コラボのこれから

発行：吹田市・豊中市千里ニュータウン連絡会議、豊中市 市民協働部 千里地域連携センター